

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

<p>①チーム名 (呼称)</p>	<p>和木市家庭教育支援チーム (呼称: はっちーず)</p> 
<p>②活動拠点</p>	<p>和木町教育委員会(和木町文化会館、和木町保健相談センター)</p>
<p>③活動範囲</p>	<p>和木中学校区</p>
<p>④組織体制</p>	<p>9 人 母子保健推進員7人、元PTA会長1人、主任児童委員1人</p>
<p>⑤活動開始年度</p>	<p>平成29年度</p>
<p>⑥問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等) 和木町家庭教育支援チーム事務局(和木町教育委員会内) (TEL)0827-53-3123 (E-mail)kyoiku@town.waki.lg.jp</p>

(2)活動内容について

<p>①活動形態 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/>保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p><input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)</p> </div> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他(広報活動、研修会、イベントでのふれあい、つながりづくり)</p>
<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上</p> <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族参加型・・・「すくすくフェスタ」をサポート 毎年6月上旬に行われる子育てイベントにブースを設けている。(写真は赤ちゃんの足形を取るコーナー)新米ママからの結びつきも大切にしており、各年齢層へ滑らかに接続できるようにしている。 ・相談業務・・・「ちょこの会(サロン)、ちょこカフェ(保護者カフェ)」の開催 毎週木曜日に文化会館にて保護者サロンを実施。また小学校や中学校の参観日に、「ちょこカフェ」(コミュニティ・ルームを利用)を開催し、保護者の語れる場を運営した。 ・「子育て支援講座」の開催 2月上旬の小学校入学説明会で保護者が集まる機会を利用して、チームの紹介と取組の説明を行った。また、講師を招聘し「人間関係づくり」につながるアクティビティや子育てについての講演も行っている。 ・情報交換、研修会 スマイルルーム(相談室)会議で出た内容の情報共有や、研修で学んだこと、今後の活動計画等について話し合う。 ・広報活動 広報誌やあいさつ運動等を通じて、チームのことを知ってもらう。   
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健推進員が主なメンバーのため、産前から保護者を知っているため、学齢期でのサポートのしやすさが強みである。 ・家庭教育への意識の高まりにつながった。 ・「ちょこの会」では、子育てに困っている保護者の利用がたびたびあり、効果を感じられる。 ・「ちょこカフェ」では保護者の集まりとしてよく利用していただいている。また、普段相談に来ることのできない保護者とチームが繋がるきっかけになった。 ・小学校入学説明会では、お互いのことを知ることができ、地域の子どもたちが抱える課題や取組のポイントを共有することができた。 ・ネットワークが広がり、不安や悩み、喜びや活動機会を共有できる機会が増えた。

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>
------------------------------------	--